

# 久居の偉人～

うえ の ひで さぶ ろう

## 上野英三郎博士没後100年記念講演会

日時 令和7年5月10日(土) 開場 13:00～ 開会 13:30～15:30

会場 久居アルスプラザ  
ときの風ホール (津市久居東鷹跡町246番地)

### ～上野英三郎博士～ 日本農業土木の父

明治4(1871)年、一志郡本村甲(現在の津市久居元町)生まれ。東京帝国大学農科大学農科学科卒業。

明治時代後期、近代農業への転換を目指していた我が国の農業土木の研究の先駆者となり、当時なかった耕地整理理論を提唱し、現在の圃場整備の基礎を確立した。

明治44(1911)年、東京帝国大学に日本初の農業工学講座が創設された際、初代の講座主任となったほか、農商務省兼任技師として、全国各地での技術指導に携わり、3,000人ともいわれる技術者を育成し、その技術は、後の関東大震災の首都復興事業でも応用された。

大正14(1925)年没 54歳

#### ●基調講演 14:00～14:40

「上野英三郎博士の偉業」 講師：筑波大学生命環境系 教授 石井 敦 氏



##### 【講師の略歴】

東京大学農学部農業工学科(農業土木専修)卒。三重大学生物資源学部助手、准教授を経て、現在、筑波大学生命環境系教授(水利環境工学分野)。専門は、水田の圃場整備、農地利用計画、灌漑計画、開発途上国の灌漑組織等。

論文として「東海地域の耕地整理と圃場整備」「国際化に対応した低コスト大規模稲作経営実現のための圃場整備」「棚田保全に必要な水利施設とその管理の実態」「土地改良区の維持管理費の財源構造」等。農業農村工学会理事、農村計画研究部会長等を歴任。現、農林水産省土地改良事業設計指針「ほ場整備」制定検討委員会委員長、自動走行農機等に対応した農地整備に係る技術検討会委員長等の政府関連委員を務める。

#### ●基調講演 14:40～15:20

「台湾で活躍した、愛弟子 鳥居 信平」 講師：ノンフィクション作家 平野 久美子 氏



撮影 / 藤田修平

##### 【講師の略歴】

ノンフィクション作家 日本文藝家協会会員

東京都出身 学習院大学仏文科卒

出版社勤務を経て執筆活動に入る。著書に『淡淡有情—日本人より日本人の物語』(小学館・第六回小学館ノンフィクション大賞)、『トオサンの桜—台湾日本語世代最後の遺言』(産経新聞出版)、『中国茶 風雅の裏側』(文春新書)、『台湾に水の奇跡を呼んだ男鳥居信平』(産経新聞出版・日本農村土木学会著作賞)、『テレサ・テンが見た夢 華人歌星伝説』(ちくま文庫)、『牡丹社事件 マブイの行方』(集広舎)、『台湾クラフトへの旅』(小学館)など多数。

『台湾世界遺産登録応援会』会長、『宮古島市国際交流会』顧問を務める。

主催：久居ロータリークラブ

後援：三重県・三重県教育委員会／津市・津市教育委員会／三重大学

オープニング協力：三重県立久居高等学校 ダンス部

入場無料 先着500人まで

連絡先：久居ロータリークラブ TEL(059)255-1234